

平成 29 年度 研修会「子ども食堂ができるまでとこれから」報告

平成 29 年 4 月 23 日（日）於：ミレニアムセンター佐倉
第 1 回運営委員会（総会）の第 2 部にて研修会を開催

テーマ「子ども食堂ができるまでとこれから」
～今求められているボランティア活動～
講話：NPO 法人ほっとすペーす・つき
坂根 亜衣 様



昨今、生活困窮や生活形態の変化により子どもの貧困や個食等が問題となっています。NPO 法人 ほっとすペーす・つきが取り組んでいる「子ども食堂」について、始める経緯や今課題となっていることなどをお話していただきました。

◆NPO 法人ほっとすペーす・つき◆

2014 年 4 月 運営開始 無償ボランティア活動
(居場所・メンタルフレンド・勉強会・学習支援・
よふかしナイト・ひきこもりステーション)
2015 年 ケンコー麻雀・囲碁メイト・ナイトウォーク
2016 年 2 月 ひきこもりサポーター訪問事業開始
2016 年 4 月 ホームスタート・さくら 活動開始
こども食堂つき 開始
2016 年 11 月 大人の寺子屋 書道部開校

〔人員構成〕 2017 年 4 月現在

・正会員 … 53 名
・ボランティア … 40 名
・非常勤職員 … 2 名
・役員 … 5 名
(認定社会福祉士、社会福祉士他)

こども食堂つき 立ち上げ経緯

こども食堂につきに来る子どもたち

◆虐待の疑い

- ・3 食しっかり食べていない
例：朝、食べていない。夜ごはんもあるか
わからない。給食が楽しみ。
給食のない夏休みにげっそり痩せて
しまう子がいる。
- ・お菓子をみんなの分まで食べてしまう。
- ・平均より体が小さく、痩せている。
中 1 の子が小 3 ぐらいに、小 3 の子が小 1
ぐらいに見える。
- ・靴のサイズが合っていないため、かかとを
潰して履いている。穴のあいた靴(靴底も)
を履いている。雨になるとビショ濡れ。
- ・親の発言内容がしつけとは思えない。
「バカ」など暴言。

◆自己肯定感が低い

- ・「嫌われてもいい」「バカだから…」
- 「どうせ…できないし」
- 「無理、だるい」…学習支援の子がよく言っている。

◆居場所がない

- ・片親、もしくは両親がいても話せる存在で
はない。
- ・家が安心・安全な場所でない。
(宿題をしない、言うことを聞かない→
げんこつ、包丁が出てきたり…暴力)
- ・クラスで居場所がない 勉強の遅れ等が原因
中 1 の子は小 1 ・ 2 年の漢字レベル、かけ算・
わり算があやふや。小 3 の子は自分の名前が
漢字で書けないなど。

家庭によりモデルとなる大人がいない。

つきに来る子ども達は、大人にたくさん話しかけてくる。話したくて仕方がない様子。

☆「誰かとたわいもない話をしながらご飯と一緒に食べる」ということは、大切なことではないか?
・現在、6人に1人の子どもが貧困
・「ご飯を食べる」→「誰かと一緒に食べる」ことが重要

子ども食堂の効果
→

- ①受け止めてもらえる場
- ②素敵な大人との出会いの場
- ③「食事」が楽しいものに変わった。

子ども食堂つきの運営

★日時：毎週水曜日 18:30～19:30
★場所：NPO 法人 ほっとすペーす・つき
★料金：大人 400円、子ども同伴の親 300円
　　子ども（18歳以下）100円（予約制）

★人数/日数（2016年4月～2017年3月）
　利用客数：905人　開催日数：48日

★ボランティアについて

人数：8人（毎週2人）月に1回程度
現在、ギリギリの人数で運営しています。
ぜひボランティアにご協力お願いします↓↓

◆子ども食堂つき ボランティア募集◆

- ①ほっとすペーす・つきの会員になる。
(入会金1000円・年会費2000円)
- ②2ヶ月に1回のボランティアミーティング参加
- ③無償

♥調理実習の延長という形で食事を提供しています。

♥参加者は小人数の時も、30人位の時もあります。

♥メニューはカレーライスが多いです。

子ども食堂つきに来る方々の言葉

- ・子ども達と一緒にご飯が食べられて美味しい・嬉しい。
〔高齢女性　家族の帰りが遅いので夕食が個食になる方〕
- ・ここは第2の家族で立場はおばあちゃん。
- ・毎週水曜日はとっても楽しみ。
- ・毎日買った物しか食べたことがなかったけれど、手作りご飯がこんなに美味しいなんて知らなかった。
- ・温かい食べ物ってこんなに美味しいんだ　などなど

地域の方からお米や野菜などの食材、
お店の方にはパンや毎週
水曜日にお花も寄付して
いただいている。



『子ども食堂作り隊』

日 時：6月12日(月)
18:30～19:30
参加費：300円(会員200円)
会 場：NPO 法人
　　ほっとすペーす・つき
内 容：子ども食堂を作るための集まり

子ども食堂を作りたい方、興味のある方、すでに始めた方、是非お越しください。

貧困等様々な理由で十分な食事を取れない子ども、一人で食事をする子ども達の支援を目的とする『子ども食堂』が、それぞれの地域にあることが望ましいと考えています。ほっとすペーす・つきのように広いスペースでなくても、民家で数人を対象に子ども食堂を開く事ができます。

お話を聞いて…

ほっとすペーす・つきの場所が臼井駅の近くという身近にあることを聞き、佐倉市内で厳しい環境にある子どもの存在に、改めて気づかされた…という様子の参加者。

今回、いろいろな事例を知り、自分たちの住む地域で、子ども達の為に自分も何かできるのではないか、という気持ちを多くの方が持つて帰られました。